



WIDE June Meeting 2020

2020/06/05 (Fri), 06 (Sat)

Online (WebEx, contributed by Cisco Systems)

情報処理学会第82回全国大会 緊急オンライン開催の経緯と運営について

○ 中沢 実 (Minoru Nakazawa)

(第82回全国大会プログラム委員長／金沢工業大学)

岡部 寿男 (Toshio Okabe)

(第82回全国大会運営委員長／京都大学)

自己紹介

- 金沢工業大学工学部 情報工学科/情報工学専攻 学科長/専攻長
- 研究テーマ: 無線系ネットワーク、ロボット、画像・音声認識、BMI
- WIDEメンバー (2回目の研究会参加で、2回目の講演)
 - 2019/5: “脳波を含む生体情報に関する取り組みについて”





情報処理学会創立60周年記念 第82回全国大会

The 82nd National Convention of IPSJ

会期 2020 3.5 木 7 土

会場 金沢工業大学 扇が丘キャンパス
(石川県野々市市扇が丘 7-1)



—サステイナブルな情報社会—

現地開催中止決定！

金沢工業大学

2月21日(金)14時公表

参加者数3,000人規模 (例年)

31セッション会場+9イベント・特別会場

- 一般・学生セッション 151
 - 講演数1,135
- 企画セッション 21

- 中高生情報科学研究コンテスト
- 「先生質問です！」公開セッション
- SamurAI Coding決勝

- 表彰式・招待公演
- 懇親会
- ランチョンセミナー・展示会
- キャリアセッション
- IPSJ-ONE
- 初音ミク ファンメイドライブ
- Exiting Coding Junior



オンライン開催の緊急検討 (2月21日(金)夕刻)

- 全国大会は大規模ではない
 - 一般・学生セッションの発表数は高々9
 - 1会場の参加者は通常開催では30名程度
 - セッションは高々30並列
- ビデオ会議サービスによる完全オンライン開催
 - 30人程度のビデオ会議を30並列で開催
 - 負荷を心配するような規模ではない
 - 「会場」がなく参加者は全国に分散
 - 特別の音響設備不要／ネットワーク的なボトルネックもない
 - コスト的にも妥当
 - Zoom有料プラン 1会議300人まで 月額2千円強 × 40 < 10万円

2月25日(火)
公表

システム設計上の課題

- 参加者の多くはビデオ会議に慣れていなかった
 - 「Zoomってなんですか？」という質問少なからず
 - 画面共有してのプレゼン発表経験者は少ない
 - 学会事務局でサポート用会議室を提供
- サポートのための要員が少ない
 - 開催校(金沢工大)の学生アルバイトを集めるわけにはいかない
 - オンラインサポートの学生の確保と講習も難しい
 - 基本は座長＋座長補佐にお任せする
 - 金工大と京大で各数人の学生アルバイトが巡回
- システム開発・運用の要員もない
 - Zoomの基本機能だけ使う(事務局でできないことはやらない)
 - 発表者の発表の可否の確認のためのGoogleフォーム



- 各セッション会場に対応するZoomミーティングを会期中開く
 - 「ホストの前の参加を有効にする」を使い、URLを知っていればいつでも入れるようにする。
- 注意点
 - 各ミーティングにはそれをスケジュールしたホストが紐づく。
 - 一人のホストに紐づいている会議は(ホスト不在のミーティングであっても)同時に一つしか開催できない。
 - 複数ホストのライセンスを契約したら、その数だけZoomのユーザ(メールアドレス)を登録してそれぞれにホストのライセンスを割り当てないといけない。



IPSJ 第82回全国大会 Zoomシステム構成

<https://blog.net.ist.i.kyoto-u.ac.jp/2020/03/07/ipsj-第82回全国大会-zoomシステム構成/>

- Zoomの契約
 - オーナアカウント(メールアドレス)でユーザ登録
 - まず10ホスト(月額、1カ月後にキャンセル)のライセンス
 - 追加で30ホスト(日割)
- ホスト権限に対応するユーザ登録が必須
 - 残りホスト分の専用メールアドレスを設定
 - CSVに入れて一括登録リクエスト
 - 各アドレスにユーザ登録メールが届くので
 - 手作業でパスワード(乱数で生成)を登録
 - 各ユーザのホストキーを確認、Excelにコピー
 - ミーティングのスケジュール権限をオーナアカウントに付与

オンライン開催ポータル

<https://sites.google.com/view/ipsj82taikai/>

- Googleサイトを用いて構築
 - 運営委員長 岡部先生(京大)個人のGoogle Drive上
 - 大会運営委員十事
- コンテンツ
 - 「Zoomの接続の手
 - 中村素典先生(京大)
 - ✓ 詳しすぎて参加者
 - 「Zoomを用いた聴
 - IPSJ学会事務局 岩
 - 手引き類は大会終

情報処理学会 創立60周年記念
第82回全国大会
オンライン開催ポータル

情報処理学会第82回全国大会 (2020年3月5日(木) ~7日(土)) は現地開催を中止しオンライン開催を行いました。みなさまのご協力により、無事3日間のプログラムを終了いたしました。ありがとうございました。

- このページでオンライン開催に関する情報を提供していきます (随時更新)
- Zoom 会議室のURLは [こちら](#)
- 本オンライン開催に関するご意見や情報交換には twitter でハッシュタグ [#第82回全国大会](#) を付けてつぶやいて下さい。



サポート用会議室 (前日＋会期中)

- IPSJ学会事務局が接続確認
 - 4交代
- トラブル例

- つながって画像は出ても音が出ない《「コンピュータのオーディオを接続する」ができていない》
- ミュートを解除するとハウリングする《同じ部屋の別のデバイスで音を出しているか拾っている》
- 発言しても声が小さい《マイクが遠いか性能が悪い》
- 音が途切れる《Wi-Fiの電波が弱い》
- スライドの共有ができない《「画面の共有」の方法を確認していない》
 - コンピュータで再生した音声を送信されない
- PowerPointの発表者ツールが表示される《外部ディスプレイをつないでいる際は切替が必要》

IPSI82大会ZOOMテスト会議室

こちらは82大会ZOOMテスト会議室です。

聴講参加申込をいただきましたみなさまは、事務局の声が聞こえ、このスライド（IPSI82大会ZOOMテスト会議室）が見えていれば問題ございません。

複数人入室された時は、発表者、座長を優先させていただきます。

テストの準備が出来ましたらミュートを解除してご発言いただくか、チャットにてお知らせください。

テストの手順

- (1) 音声がお互いに聞こえるかのテスト
- (2) 画面共有のテスト
- (3) (必要があれば) 動画再生テスト等

テスト会議室サポート期間

3月7日(土) 8:30-15:00

当日の運営方針として

- **座長・発表者**でオンラインセッションは回るのか？
- 現地開催の場合は、**現地実行委員**や**学生スタッフ**によって**状態を把握**できるが、オンライン開催の場合は不明すぎる(未知数すぎる)
- 高々30並列セッションとはいえ、**オンライン開催が成功したか否かがわからない**状態になるのではないか？
- 岡部運営委員長長の提案により、**座長補佐**と**運営補佐(学生スタッフ)**を置くことを考えた

座長補佐について

- タイムキーパー、質問、問題発生時の対応など
 - 座長がオンラインセッションに集中するために必要不可欠な存在として今回のキーポイントとなった。
- 3月2日の時点で、**半分程度の座長補佐**が決定
- プログラム委員会、プログラム編成委員会、現地実行委員会にメールにて呼びかけ実施(個人的な知り合いにも連絡)
- 3月4日(前日)に85%ぐらいの座長補佐が決定する。(あとは**当日に期待**)



運営補佐(学生スタッフ)の必要性

- 運営委員(正副プログラム委員長含む)では、**30並列セッションの運営状態は確認**できない。
 - 座長・座長補佐・発表者がオンラインセッションにいるのか？
 - 音声が正常状態であるのか？(ミュート状態・ハウリング)
 - 聴講者が何名いるのか？
 - スライド共有されているか？
 - Zoom bombingされてないのか？・・・e.t.c
- 各セッションと運営委員の**間を繋ぐ連絡網**が必要
- 京都大学と金沢工業大学にて**学生スタッフチームを形成**



運営補佐(学生スタッフ)

➤ 学生スタッフにより多くの難局を逃れている



学生スタッフの作業について

- 朝ミーティング
 - セッションの分担確認(4セッション/人)
 - 各セッションの確認(座長・座長補佐・発表者)
- セッション開始前
 - Zoomが無事起動しているのか
 - 座長・座長補佐・発表者がいるのか
 - 共有モードや音声チェックなど
- セッション中
 - プレゼン・音声チェック継続
 - 聴講者数確認
- セッション終了後
 - 終了時間・発表件数のチェック
 - 座長・座長補佐への連絡など

Slackにて運営

The screenshot shows a Slack channel interface with a list of channels on the left and a message history on the right. The channel list includes # blockchain, # general, # hologram, # intersection, # ipsj補助 (selected), # mr, # random, # wish-list, # アルバイト, # プロトタイプ, and a button to add channels. The message history shows a timeline of messages from 12:15 to 13:09, including session start announcements, room status checks, and troubleshooting for audio issues.

Message history (3月5日 (木) 3:00 PM):

- 12:15 @channel 午後のセッションは13:10からです。13:00あたりから、各roomを巡回してください。(その時点で座長13:10あたりから、各セッションがはじまっているかを確認(音と人数)のあとは、時折、様子を見て回るくらいです。一件先ほどあったトラブルになりかけた事例：座長補佐がホストになります、その際は、どのroomなのかを連絡してください。
- 13:00 中沢実 なんとなく、皆さんつなげ始めた感じ
- 13:00 山下正人 room-ZF座長・座長補佐あり room-ZG座長いません・座長補佐あり room-ZH座長・座長補佐あり
- 13:01 中沢実 ZG: ホストキー 100730 @山下正人 ホストキーが必要そうだったら、渡してください。
- 13:02 山下正人 room-ZG座長きました
- 13:05 小原裕輝(M1,MR) zc.zeはどちらも座長、音声ともに問題ないです。
- 13:06 安達聡子 R, T 座長、音声問題なしです。S, U, V 座長確認できました。
- 13:07 山下正人 ZF, ZG, ZH音声問題なしです。
- 13:09 鈴木 W - ZB 座長全員います

学生スタッフの環境 (金沢工業大学)





コメントまとめ(座長・発表者)

• 好評価コメント

- 多くの事前資料とガイドラインのおかげで、大きなトラブルもなくセッションを乗り越えられた
- みんな集まって発表する際より聞きとれやすい気がします。なぜなら、みんな個室で参加し、隣からの干渉が少ないです。
- 運営の方が入ってくださっていて、心強かったです。(今後のこういった会はあり)
- 音声トラブルも少なく、ほぼ問題なくセッション進行できたと思います。
- 大変な社会情勢の中、最大限の提供をしてくださりありがとうございます。
- 座長補佐の仕組みを設けたのは大変良かったと感謝しております。
- 今後もオンラインでいいと思う。



コメントまとめ(座長・発表者)

• 改善提案

- 「セッション終了時にはみんなで拍手する」というのをやらないとやらないと締まらない。
- セッション後に、オフラインだと立ち話での情報交換がよく行われている。
- 雰囲気分かり辛かった。特に座長からのセッション説明がチャットで文字も含めて資料提示、口頭でこなすということになると操作が煩雑になるので大変だった
- 時間管理のベルが鳴らせないため、口頭で遮らなければならない。
- 音声途切れ途切れでなかなか難しかったです。
- 質問が少なくてさびしかったです。

大会を通じてのまとめ

- 発表件数:753/1135, 延べ参加人数: 2,419
 - 企業の方はオンラインでの発表許可を取り直す手続きが間に合わなかった、
 - 学生の方は感染症対策により大学への登校を制限され発表準備が行えなかった
- 現地開催の代替手段としてのオンラインが、残せたものが非常に多くて意義の大きさを感じた。
 - その後のオンライン授業に役立つとは思ってなかった。
 - ポータルサイト ,Zoom, Slack どれも重要(補完的)
- 情報処理学会関係者のリテラシー向上
 - オンライン研究会開催へと順調につながった。
 - 運営委員会などの会議のオンライン化へ

情報処理学会全国大会として

- オンラインとして**成功**と思っています。
- しかし、**金沢を堪能**しようと思っていた方々も沢山いたと思います。
- 是非、COVID-19が収束致しましたら、**金沢(そして金沢工業大学)**にお立ちよりください。



特別解説
Special Article

前回の Acrobat セッションは突然終了されました。前回のセッションの PDF をダウンロードするには、元のページを参照してください。

情報処理学会第 82 回全国大会 実録 緊急オンライン開催

岡部寿男 | 第 82 回全国大会運営委員長 / 京都大学

中沢実 | 第 82 回全国大会プログラム委員長 / 金沢工業大学

全国大会オンライン開催を振り返って

2020 年 2 月、新型コロナウイルス感染症の拡大が始まった。第 82 回全国大会（2020 年 3 月 5～7 日）は急遽オンライン開催となったが、多くの方々の協力に支えられ、大会は予定通り開催された。

本会でも 20 日夕に臨時の大会運営委員会を招集して対応を協議したが、その時点での判断は基本は現地開催で、一部のイベントについて対応を検討するにとどまっていた。

しかしながら、翌 21 日午前になり改めて状況を把握し、各セッションの開催形態について検討した。